

# 令和6年度学校自己評価システムシート(県立けやき特別支援学校)

目指す学校像	安定した人間関係を形成し、「自らの病状や実態を理解し、自らの健康管理ができる力」と「基礎学力」を身につけ、子どもたちの夢や希望の実現に向けて全力で取り組む、保護者・病院から信頼される学校
--------	---

重点目標	1 病弱教育における教職員の専門性の向上と児童生徒一人一人に応じた教育活動の充実 2 病弱教育のセンター的機能の啓発と保護者や地域、関係諸機関に信頼される学校づくりの推進 3 児童生徒が生き生きと学べるよう、安全・安心な学習環境の整備
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<b>【現状】</b> 病弱教育における自立活動の視点を生かした教科指導について、病弱教育特有の課題についてまとめ、それを踏まえた実践を行っている。 <b>【課題】</b> さらなる児童生徒一人一人に応じた教科指導の充実や、教員の指導力・専門性の向上をしていく必要がある。 入院中の学習空白を減らすために、教材教具の工夫や学習の進め方の工夫が課題である。	①病弱教育における自立活動の視点をふまえ、児童生徒一人一人に応じた教科指導の授業を改善し、教員の指導力を向上する。	①-1 教科指導の授業改善を行うため「病弱教育における自立活動の視点を生かした教科指導に関する実践研究」に関する学校研究の2年目として、校内研究10回、授業見学会を行う。 ①-2 病弱教育についての専門性を高めるため、病弱教育及び自立活動についての校内外の研修会へ積極的に参加する。 ①-3 本校と分校の教職員の交流を増やし、資質向上につなげる。	①-1 本研究2年目にあたり、1年目の課題に対する手立てや工夫を実践検証をすることで授業改善をすることができたか。 ①-2 校内の講師招聘研修、各分掌主催の研修、校外の関係連、全庁連、等研究会に参加し、専門性を高めることができたか。 ①-3 年間を通して計画的に本校と分校の職員交流をし、資質向上につなげることができたか。		
2	<b>【現状】</b> 相談支援部が中心になり、校内外に向け様々な研修の実施、教育相談を行っている。 昨年度は様々な機関が学校視察のため来校し、本校の実践と現状を紹介した。 令和6年度コミュニティ・スクールを実施できるよう準備をきている。 <b>【課題】</b> 多様化する病弱教育の理解・啓発を進めていく必要がある。 コミュニティ・スクールへのスムーズな移行ができるようになる。	①コミュニティスクールをとおして病院や関係諸機関の意見を学校運営に反映させ、連携を深める。 ②センター的機能を充実させた病弱教育の理解・啓発をする。	①学校運営協議会を年2回以上実施し、計画的な運営を行うとともに、関係諸機関から学校運営に必要な情報を収集し、課題や目標を共有する。 ② 病弱教育理解啓発に向け、校内外での研修会を実施したり、本校の概要や取り組みについての情報を発信したりする。	① 学校運営協議会の計画的な運営と実施を行い、学校運営に必要な情報を収集し、課題・目標を共有することができたか。 ② 校内外において病弱教育について研修を実施したり、視察を受け入れたりすることができたか。また、学校HPや通信等において、情報発信をすることができたか。		
3	<b>【現状】</b> ・各分掌が教職員向けにそれぞれの分掌の観点から安全で安心な教育環境に向け、研修を行っている。 ・ICT機器の環境整備を行っており、管理徹底ができてきている。 <b>【課題】</b> ・事故未然防止研修の実施、防災計画の整備、再確認などに引き続き取り組む必要がある。 ・情報セキュリティに関する研修、ICT機器の計画的な更新と精査が課題である。	①防犯・防災・事故対策を組織的に行い、児童生徒が安全・安心に学習できるように学習環境を整備する。 ②ICTに関する情報セキュリティ意識の向上と、ICT機器の適切な活用を推進する。	①-1 緊急時の対応や防災・防犯対策について、様々な訓練の実施とマニュアルの整備をする。 ①-2 健康教育推進のための活動の充実と、緊急対応・事故防止のための環境整備をする。 ② 情報セキュリティについての研修を行うとともに、ICT機器の精査や更新を行い、ICT機器の活用を推進する。	①-1 様々な緊急時における訓練を実施し、緊急時の対応について教職員が理解できたか。また、危機管理マニュアルの見直し、改訂ができたか。 ①-2 学校保健の領域・内容に基づき、各学部や分掌と連携しながら健康教育を推進することができたか。また、緊急対応や事故防止について研修を行い、対応について周知・徹底できたか。 ② ICT研修で個人情報、データの移行等についてルールを周知徹底したり、活用を明確にした活用を推進することができたか。また、ICT機器について精査し、計画的な運用ができたか。		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	